

特別活動プロジェクト研究通信(No. 2)

「なりたい自分に向けてがんばる力」を育てる小学校の特別活動 一学級活動における個々の意思決定とそれに基づく実践の充実を通して一

本研究では、児童が「なりたい自分」や自分の目標を意思決定し実践する活動を充実させることで「なりたい自分に向けてがんばる力」を育てることを目指しています。

6月25日(火)、滋賀県総合教育センターにて、第2回研究会を開催しました。研究会では、研究委員の先生方に実践していただいた授業について成果と課題を振り返り、課題を改善するための手立てについて検討しました。また、「なりたい自分に向けてがんばる力」が育っている姿について、児童の「なりたい自分になりまシート」を基に話し合いました。今回の通信は、研究委員の先生方が実践された内容、研究協議の中で見いだした手立て、「なりたい自分に向けてがんばる力」を中心に紹介します。



研究委員の先生方の実践



児童にアンケートをとり、学級や自分の現状を把握し、問題意識を高められるようにしました。



「なりたい自分になりまシート」を基に、自分の目標や実践の振り返りを記述できるようにしました。



「目標ボード」を基に、友だちと解決方法を交流し、自分の考えを広げられるようにしました。



「やる気アップ交流会」を設定し、友だちのアドバイスを基に、必要に応じて目標を修正して粘り強く取り組めるようにしました。

研究会の目標①

実践を通して見られた課題を改善するための手立てを見つける。



実践から見てきた課題	実践での成果や研究協議から見いだした手立て		
子どもが題材に対し問題意識(考える必要感)をもてるようにするは…	アンケートは児童が自分たちの現状を知るために有効だった	アンケートの結果と自分の予想のギャップから問題意識を生む	アンケートに加え子どもの問題意識を高める発問(ゆきぶり)をする
「目標ボード」を使って自分たちの目標を紹介するだけで終わらないために…	出た意見を分類することで、意見の特徴を捉える	目標の交流に慣れるまで粘り強く取り組む	交流するグループを工夫する(考えが近い人同士で組む、違う人同士で組む、など)
「なりたい自分になりまシート」に「自分の課題」や「なりたい自分の姿」があまり書けない子にどう支援するか…	より書きやすくなるよう、「自分の課題」の欄を「目標を立てた理由」の欄と同じにする	「なりたい自分の姿」と「目標」が混同しないよう、なりたい自分までは授業前に書いておく	「なりたい自分の姿」が「目的」、「目標」が「目的達成のために何をいつどのくらいするか」であることを丁寧に説明する
「やる気アップ交流会」が反省会にならないために…	アドバイスの理由を伝えるよう促す	アドバイスの視点を提示・よりその人に合った目標にするには ・できたかどうか分かる目標にするには など	はげましの言葉を掛け合うことを意識し、「なりたい自分になりまシート」にその言葉を残す

研究会の目標②

「なりたい自分に向けてがんばる力」が育っている姿を共有する。



なりたい自分に向けてがんばる力

自己のよさや
可能性を
生かす力

自己の在り方や
生き方を考え
設計する力

本研究での「なりたい自分に向けてがんばる力」の捉え



児童の「なりたい自分になりまシート」を見て、どのような記述から「自己のよさや可能性を生かす力」と「自己の在り方や生き方を考え設計する力」が見取れるかを話し合いました。



がっかつにいさん

【児童の記述(一部)】

- ・みんなが傷つかないように相手にかける言葉をしっかり考えれば、けんかが少なくなると思います。
- ・保育士になるために文を読む力が必要だと思ったので、目標を「一日20分、本を読む」にしました。
- ・ストレスを溜めないため「イライラしたらお母さんにしゃべる」という目標を立てました。意識したらあまりイライラしなかったのでいい目標だったと思います。
- ・あまり仲良くない人ともしゃべったら、学級目標に近づけるのではないかと思います。自分なりにがんばれたので、これからも続けていきたいです。

研究協議から見いだした、「なりたい自分に向けてがんばる力」を見取る視点

「～すれば～になれる」など、目標の理由が具体的に書けている。

「～をしたら～ができるようになった」など、なりたい自分に近づいた理由が書けている。

目標が達成できたことを自己評価し、更なる目標を立てている。

研究委員の先生方の授業で、こんな一場面に出会いました。

児童A「わたしは学級目標の達成のために時間をきちんと見て行動することをがんばります。」
児童B「それは学級のみんなもがんばらなくちゃいけないことだから、他のみんなもできるようにしたいね。」
児童A「どうしたらいいかな。」
児童B「みんなに、知らせるとか？」

友だちからアドバイスもらったAさんは、Bさんの言葉に納得し、学級目標を達成するために自分ができることとして、右下のような目標を立てました。

「なりたい自分」を目指し、一人で頑張るのではなく、友だちと励まし合ったり、助言し合ったりして取り組むことが大切であると改めて感じました。そしてこのような取組を続けていくことが学級づくりにもつながると考えます。本研究で大切にしている手立てを、学級活動(2)、(3)の授業に役立てていただけたら幸いです。

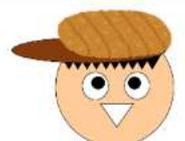
第3回研究会

日時 8月23日(金) 9:30~16:30

場所 本館3階 第1研修室および第2研修室(受付:第2研修室)

- 内容 (1) 研究の概要説明と児童および指導者質問紙調査(第1回)の結果報告
(2) 1学期の実践交流と今後の実践で講じる手立てについて
(3) 2学期の実証授業に係る指導案について
(4) 「特別活動指導力アップ研修」への参加

時間をきちんと見て
こうどうする。(いせる)
(みんなに)



がっかつにいさん

⇒友だちのアドバイスを参考にして考えた、Aさんの目標